

# 聖徳太子1400年遠忌記念 特別展「聖徳太子と法隆寺」

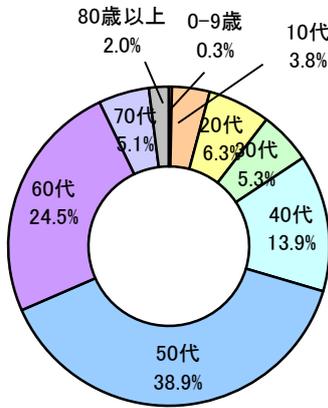
## アンケート集計結果

開催期間：令和3年7月13日（火）～令和3年9月5日（日）（48日間）

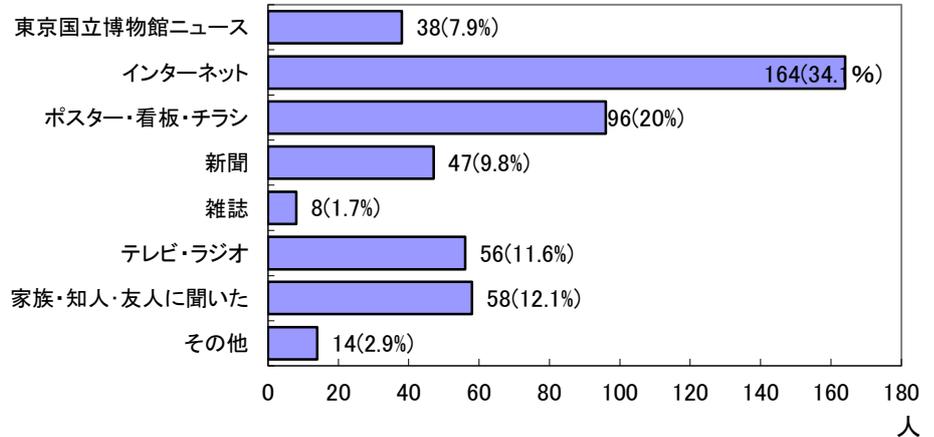
総入館者数：69,640人

回答者数：396人

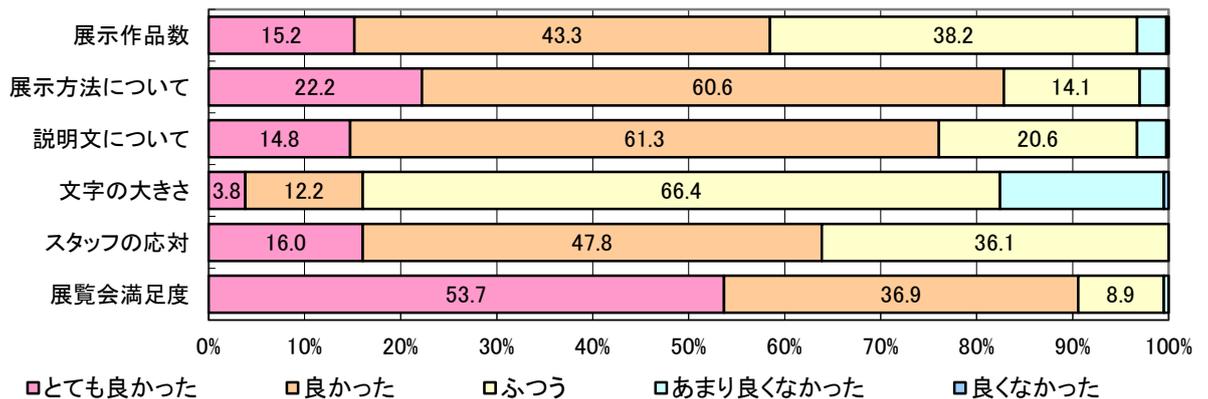
### ① アンケート回答年齢層



### ② 認知経路（複数回答）



### ③ 展示に関する満足度



### ④ 主な意見・感想

- ・ 貴重な作品をたくさん見ることができ、見ごたえがあった。
- ・ コロナの影響で現地に行けないので、東京で法隆寺の寺宝を見ることができてうれしかった。
- ・ 事前予約制で混雑なく、観覧することができた。
- ・ 国宝 救世観音・百済観音の8K文化財の映像がとても美しく、細部まで見ることができてよかった。
- ・ 漢字にルビをふってほしい。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	3.0	0.3
展示方法	2.8	0.3
説明文	3.1	0.3
文字サイズ	17.0	0.5
スタッフの対応	0.0	0.0
展覧会の満足度	0.5	0.0

(%)

本展は、聖徳太子の1400年遠忌にあたり、これを記念して開催されたもので、法隆寺において護り伝えられてきた寺宝を中心に、太子の肖像や遺品と伝わる宝物、また飛鳥時代以来の貴重な文化財を通じて、太子その人と太子信仰の世界に迫るものとなりました。1400年という遙かなる時をこえて、今を生きる私たちが聖徳太子に心を寄せることでその理想に思いを馳せ、歩むべき未来について考える絶好の機会となりました。

本展会期中に、緊急事態宣言が発令されましたが、事前予約制による混雑回避をはじめ、館内消毒の徹底、展示室内で会話を控えいただくなど来館者のご理解とご協力もあり、無事に閉幕することができました。

本展を観覧しアンケートに答えた90.6%の方から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見が寄せられました。コロナ禍で、県境をまたいだ移動が制限される中で、奈良県の現地に行かずに、東京で法隆寺の寺宝等を観覧できたことが、さらに満足度を高めることになったと考えられます。

また、インターネットによる事前予約への手続きの難しさや、解説パネルの漢字にルビが欲しいといったご意見もいただきました。今後も来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。